

2017年度 地域・産業保健コース 再現問題

2018年2月2日実施

産業衛生分野（以下の4題について、この用紙の余白および裏面に回答すること）

問1. A医師は、最近、産業医の資格を取得し社員数が1100人のB航空機製造工場の専属産業医に就任しました。A医師になったつもりで、この会社の職場巡視の要点を具体的に答えなさい。また、巡視時の服装の留意点についても記しなさい。（40点）

問2. この工場ですら防する必要があると想定される職業病名を記しなさい（20点）

問3. この工場では、社員の親睦を深めるために食堂でパーティーを開催しましたが、開催後、出席者のうち20名が吐き気などの軽い消化器症状を訴えました。調理は外部の総菜屋が行っていました。工場長は、この工場にある診療所長を兼任している産業医のA医師に診察を含めた対応を依頼しました。A医師になったつもりで、具体的対応を記しなさい（30点）

問4. A医師は、社長から、この工場で、健康保持増進を推進するための体制を整えるよう依頼されました。どのような体制をとればよいか、記しなさい。（10点）

疫学・予防医学分野（以下の3題について、この用紙の余白および裏面に解答すること）

問1. 糖尿病の患者が大腸がんになりやすいという説を確かめたい。どのような疫学研究を行ったらよいか、複数のデザインに応じて述べなさい。また、バイアスが生じやすいと考えられる点についても対応策を含め述べなさい。

問2. 医師の間では、子宮摘出を受けた患者での精神障害、特にうつ病の発生が過剰に起こることが広く信じられている。この関連が本当にあるのかどうか調べるため、また子宮摘出自体の病因としての役割を明らかにするため、追跡研究が実施された（Barker,1968）。スコットランドのDundeeで1960年から1964年までに子宮摘出を受けた女性住民を病院の記録から探し出した。これらの手術の大部分は悪性疾患に対するものである。比較のため、同時期に胆嚢摘出を受けたDundeeの女性が選びだされた。この両コホート内で1966年（即ち2年の追跡）まで、精神科にかかった女性をカルテから同定した。子宮摘出コホートでは、術後2年間に3.2%が精神科にかかり、胆嚢摘出では1.2%であった（年齢訂正後）。

なぜ、比較のため胆嚢摘出術を受けた女性を選んだか。結果を解釈するためにどのような問題点があるか述べなさい。

問3. 大腸がんの検診に用いられる検査の一つに、便に潜む血液の有無を調べる便潜血法がある。この検査の精度を評価するためにどうしたらよいか述べなさい。

*雑感

産業衛生分野の問 2、3 以外は過去問通りでした。産業も疫学も割と書くことが多く、時間ぎりぎりになってしまうので、要領よくまとめた方がいいと感じました。ほとんど過去問通りなので、事前に答えを作り、試験場では書くだけって印象が強いテストです。

出席は疫学の方は無し、産業の方は抜き打ちでした（事前に抜き打ちで取るとは言っていません）。ただ、疫学の方は、授業聞いておいて方がテスト楽？な印象でした。

*結果発表

張り出しが無かったため、正確な人数は分からずです（3、4人ぐらい？）。再試？は、本試の問題を課題としてもらい、期限までに答えを書いて提出という形でした。